

平成26年度

エコアクション21

環境活動レポート

運用期間(平成26年1月～平成26年12月)



平成27年2月16日

株式会社 中央建設工業

目 次

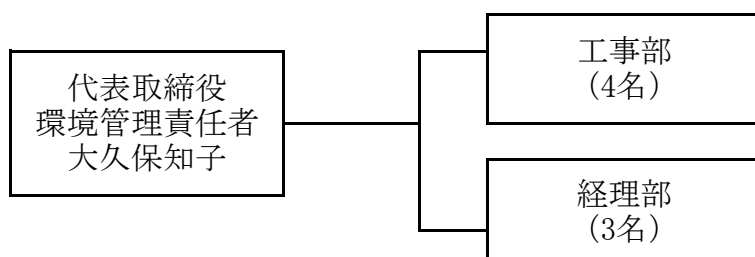
- 1.組織の概要
- 2.対象範囲
- 3.環境方針
- 4.環境目標
- 5.環境活動計画
- 6.環境目標の実績
- 7.環境活動計画の取組結果とその評価、
次年度の取組内容
- 8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- 9.代表者による全体の評価と見直しの結果

1.組織の概要

(1)事業所名 代表者氏名	株式会社 中央建設工業 代表取締役 大久保 知子																								
(2)所在地	本社 〒839-0851 福岡県久留米市御井町2436番地1																								
(3)環境管理責任者 担当者連絡先	代表取締役 大久保 知子 TEL 0942-43-3111 FAX 0942-43-3114 事務局(総務部) 青木 順子																								
(4)事業内容	県知事 許可(般-23) 第17116号 土木工事業、管工事業、水道施設工事業 とび・土工事業、ほ装工事業 (対象活動) 産業廃棄物収集運搬業(※業として行っていない)																								
(5)事業規模	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>H23年</th> <th>H24年</th> <th>H25年</th> <th>H26年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>百万円</td> <td>100</td> <td>87</td> <td>168</td> <td>143</td> </tr> <tr> <td>従業員数</td> <td>人</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td>m²</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	H23年	H24年	H25年	H26年	売上高	百万円	100	87	168	143	従業員数	人	8	8	8	8	床面積	m ²	34	34	34	34
項目	単位	H23年	H24年	H25年	H26年																				
売上高	百万円	100	87	168	143																				
従業員数	人	8	8	8	8																				
床面積	m ²	34	34	34	34																				
(6)事業年度	1月～12月																								
工事内容	公共工事、下水道工事、漏水修繕工事など																								

2.対象範囲

全組織、全活動が認証・登録範囲です。



環境方針

株式会社 中央建設工業は、事業活動を通して快適な環境を目指し、地球環境の保全と限りある資源の有効的活用を認識し、EA21を活用して、全社員一体となり地球環境維持改善活動に取り組み推進します。

《行動指針》

1. 環境負荷削減のため、次のことに取り組みます。
 - ①電気・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ②水資源の節水
 - ③一般廃棄物及び産業廃棄物の分別と適正処理
 - ④グリーン購入の推進
 - ⑤環境に配慮した施工の推進
2. ボランティア活動、地域環境美化活動に参加し、社会貢献に努めます。
3. 環境関連法規や当社が約束した方針を遵守します。
4. 環境活動レポートを作成し、公表します。

制定日 平成 22 年 10 月 5 日
改定日 平成 25 年 8 月 26 日

株式会社 中央建設工業

大又保 知子

4.環 境 目 標

環境目標		当該事業所	単位	平成23年度実績	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1	二酸化炭素排出量の削減	全体	Kg-CO ₂	29494	29199以下 (1%)	28904以下 (2%)	28609以下 (3%)
		事務所		5504	5449以下 (1%)	5394以下 (2%)	5339以下 (3%)
		現場		23990	23750以下 (1%)	23510以下 (2%)	23270以下 (3%)
(1)	電気使用量の削減	事務所	kWh	6599	6533以下 (1%)	6467以下 (2%)	6401以下 (3%)
(2)	ガソリン使用量の削減	事務所	L	1140	1129以下 (1%)	1117以下 (2%)	1106以下 (3%)
		現場		2874	2845以下 (1%)	2817以下 (2%)	2788以下 (3%)
(3)	軽油使用量の削減	現場	L	6599	6533以下 (1%)	6467以下 (2%)	6401以下 (3%)
(4)	灯油使用量の削減	事務所	L	127	126以下 (1%)	124以下 (2%)	123以下 (3%)
2	水使用量の削減	事務所	m ³	104	103以下 (1%)	102以下 (2%)	101以下 (3%)
3	廃棄物排出量の削減	事務所	kg	30.6	30.3以下 (1%)	30.0以下 (2%)	29.7以下 (3%)
		現場	t	1193	1181以下 (1%)	1169以下 (2%)	1157以下 (3%)
4	グリーン購入の推進	事務所 現場	品目数	11	12品目以上	12品目以上	12品目以上
5	地域貢献活動の推進	事務所	回/年間	7	7回以上	7回以上	7回以上
6	環境に配慮した施工の推進	現場	/ / / / / / / / / /	/ / / / / / / / / /	/ / / / / / / / / /	目標値は設定せず 各現場毎に該当項目を実施する。	目標値は設定せず 各現場毎に該当項目を実施する。

※ ()内%、平成23年度の実績をベースとしての削減率を示す。
 使用電力の二酸化炭素排出量は九州電力の平成22年度実排出係数0.385kg-CO₂/kwhを使用しました。

5. 環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減(責任者:大久保)

取組目標		該当事業所	達成手段	
1	電気使用量削減	事務所	1	就業後は、出来る物は主電源から切る
			2	エアコンのフィルターをこまめに清掃する
			3	グリーンカーテン・すだれの活用(夏場6月～9月)
			4	不要な照明は消灯し、昼光を有効利用する
2	ガソリン使用量削減	事務所	1	急発進・急加速の禁止
			2	タイヤの空気圧を定期的に確認する(給油時にチェックすること)
			3	効率的なルートで運行する
			4	不要な荷物は積まない
		現場	1	急発進・急加速の禁止
			2	タイヤの空気圧を定期的に確認する(給油時にチェックすること)
			3	効率的なルートで運行する
			4	不要な荷物は積まない
3	軽油使用量削減	現場	1	重機の定期点検整備の実施
			2	重機の無駄な動きをなくす
			3	重機の停止時にはエンジンを停止する
4	灯油使用量削減	現場	1	ファンヒーターのフィルターをこまめに清掃する
			2	設定温度を±3度に設定する
			3	ウォームビズを実行する(冬場11月～3月)

2. 水資源の節水(責任者:大久保)

取組目標		該当事業所	達成手段	
1	節水活動	事務所	1	必要に応じて水を使う

3. 廃棄物排出量の削減(責任者:大久保)

取組目標		該当事業所	達成手段	
1	廃棄物排出量の削減	事務所	1	両面印刷の徹底・会議用資料や事務手続き書類の簡素化に取り組む
			2	裏紙の使用・使用済み封筒の再利用
		現場	1	廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正処理を確認する
			2	無駄な資機材を購入しない

4. グリーン購入の推進(責任者:大久保)

取組目標		該当事業所	達成手段	
1	グリーン購入品の調査と推進	事務所	1	グリーン相当事務用品の購入
		現場	1	グリーン商品の積極的な購入

5. 環境保全活動の実施:維持する(責任者:大久保)

取組目標		該当事業所	達成手段	
1	教育・訓練の実施	全体	1	緊急事態対応への訓練の実施
2	地域貢献活動	全体	1	ボランティア活動(近隣の道路清掃等)を定期的に行う
			2	地域での環境活動(河川等の除草の補助活動等)に積極的に参加する

6. 環境に配慮した施工の推進(責任者:大久保)

取組目標		該当事業所	達成手段	
1	環境に配慮した施工・工法 及び再生資源の利用	現場	1	積極的なエコ資機材の使用(ソーラー及びハイブリッド製品の使用等)
			2	低騒音、低振動型の機械の選定
			3	リサイクル製品の活用
			4	事故防止等の意識教育等
			5	作業現場周辺環境の整備(作業中の粉塵防止対策及び現場周辺の清掃)
			6	現場周辺地域との調和(地域とのコミュニケーションを深め苦情防止等に繋げる)

※化学物質使用量の把握 施工段階で使用する製品等に含まれる化学物質(接着剤・防水剤・塗料等)をPRTR法で把握し、適正に保管・管理する。

6. 環境目標の実績

項目		単位	平成23年度	平成26年度	平成26年度	評価	
			(基準値)	(目標値)	(実績値)		
全体	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	29494	28609以下 (3%)	20033 (△32.1%)	○	目標達成出来ています。このまま継続します。
事務所	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	5504	5339以下 (3%)	5089 (△7.5%)	○	目標達成出来ています。このまま継続します。
	電気使用量の削減	kWh	6599	6401以下 (3%)	6132 (△7.1%)	○	目標達成出来ています。このまま継続します。中古プリンターも「エコマーク」の複写機に買い替えました。
	ガソリン使用量の削減	L	1140	1106以下 (3%)	1054 (△7.5%)	○	目標達成出来ています。このまま継続します。
	灯油使用量の削減	L	127	123以下 (3%)	112 (△11.8%)	○	目標達成出来ています。このまま継続します。
	水使用量の削減	m ³	104	101以下 (3%)	150 (44.2%)	×	昨年度より仕事の量は減っていますが事務所から水を汲んで現場での使用が多かったです。周知して使います。
	廃棄物排出量の削減	kg	30.6	29.7以下 (3%)	29 (△5.2%)	○	目標達成出来ています。このまま継続します。
全体	グリーン購入品の推進	品目数	11	12品目以上 (+1品目)	13品目 (2品目増)	○	目標達成出来ています。このまま継続します。
現場	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	23990	23270以下 (3%)	14944 (△37.7%)	○	目標達成出来ています。このまま継続します。
	ガソリン使用量の削減	L	2874	2788以下 (3%)	1249 (△56.5%)	○	目標達成出来ています。このまま継続します。
	軽油使用量の削減	L	6599	6401以下 (3%)	4590 (△30.4%)	○	目標達成出来ています。このまま継続します。
	廃棄物排出量の削減	t	1193	1157以下 (3%)	1264 (6.0%)	×	昨年度より仕事の量は減っていますが工事の内容で廃棄物が多くでる現場でした。廃棄物管理票を元に適正処理しています。
	環境に配慮した施工の推進			目標値は設定せず 各現場毎に該当項目を実施する	目標値は設定せず 各現場毎に該当項目を実施する	○	各現場に該当する項目を実施できています。
全体	地域貢献活動の推進	回/年	7	7回以上 (±0回)	9回 (2回増)	○	目標達成出来ています。このまま継続します。

※ ()内%、平成23年度の実績をベースとしての削減率を示す。

使用電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の平成22年度実排出係数0.385kg-CO₂/kwhを使用しています。

実績値の欄の()の数値は、基準値に対する削減率又は増加率を示す。

化学物質使用量の把握 施工段階で使用する製品等に含まれる化学物質(接着剤・防水剤・塗料等)をPRTR法で把握し、適正に保管・管理を行った。

7.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境活動計画の取組結果の評価(事務所)	
1 二酸化炭素排出量削減	次年度の取組み内容
(1)電気 夏、冬冷暖房機を使用時期は温度調整をしていますが、冷暖房機も古いのと、中古のコピー機を使用しているのが原因です。今年度電気をLEDに変えました。年間目標は達成しています。	来年度は、コピー機の買い替えを検討中です。
(2)ガソリン 月平均で見ると多い月少ない月があります日頃から決めたことは周知しています。仕事の量で変わるようです。	このまま継続します。
(3)灯油 温度は設定はしていますが、寒い日は、灯油もよく燃えるようです。年間目標は、達成しています。	このまま継続します。
2 水資源の節水	次年度の取組み内容
水は事務所、現場別々把握ができません。水を使用する現場が増えると水の使用量も増えます。必要に応じて使用はしています。	このまま継続します。
3 廃棄物排出量の削減	次年度の取組み内容
計画通りに進んでいます。目標達成できています。	このまま継続します。
4 グリーン購入の推進	次年度の取組み内容
事務用品購入時にグリーン商品を積極的に選び、環境に配慮した商品を購入しています。	このまま継続します。
環境活動計画の取組結果の評価(現場)	
1 二酸化炭素排出量削減	次年度の取組み内容
(1)ガソリン 現場までの距離や現場の数、仕事の量で使用量も増えたり、減ったりしています。今年度、目標値守れています。	このまま継続します。
(2)軽油 現場ごと内容や使用量も違います 仕事の量、内容で使用量も変わります。	
2 廃棄物排出量の削減	次年度の取組み内容
昨年度より仕事の量は減っていますが工事の内容で廃棄物が多くでる現場でした。廃棄物管理票を元に適正処理しています。	このまま継続します。
3 環境に配慮した施工の推進	次年度の取組み内容
積極的にエコ資機材の使用、リサイクル製品の活用など、現場ごとで違いはありますが、現場担当が主になって環境に配慮した施工が出来ています。	このまま継続します。
環境活動計画の取組結果の評価(全体)	
1 二酸化炭素排出量削減	次年度の取組み内容
二酸化炭素削減周知はしていますが、やはり仕事の量が多い時、内容で違いがあるようです。	このまま継続します。
2 地域貢献活動の推進	次年度の取組み内容
今回も会社周辺、県道を掃除しました。 季節により枯葉、県道はたばこの吸い殻がよく見られました。 ゴミの多い時、少ない時まちまちです。 少しづつでも減るように頑張ります。	このまま継続します。

※化学物質使用量の把握 施工段階で使用する製品等に含まれる化学物質(接着剤・防水剤・塗料等)をPRTR法で把握し、適正に保管・管理を行った。今後も継続して取組む。

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物委託基準の遵守	適
	産業廃棄物処理の義務	適
	処理基準の遵守	適
	保管基準の遵守	適
	建設廃棄物の保管	
	許可業者への委託	適
	委託基準の遵守	適
	多量排出事業者の義務	
	管理票(マニフェスト票)の交付	適
	管理票(マニフェスト票)の写しの保存期間	適
	管理票(マニフェスト票)に関する知事への定期報告	適
	管理票(マニフェスト票)の写しの送付を受けるまでの期間	適
	虚偽の管理票の交付禁止	適
	管理票交付者が講ずべき措置	適
	投棄禁止	適
	焼却禁止	適
	報告の徴収	適
	下請人が行う保管に関しては、保管基準の遵守	
	下請人による一定の廃棄物の運搬の遵守	適
	資源の有効な利用の促進に関する法律(ラージリサイクル法)	再生資源の発生した工事現場の利用・計画の作成保管
再生資源の利用の促進・計画の作成保管		適
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	建設業等を営む者の責務	適
	分別解体等実施義務	適
	届出に係る事項の説明義務	適
	請負契約に係る書面の記載事項	適
	再資源化等実務義務	適
	発注者への報告等	適
	下請負人に対する元請け業者の指導	適
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)	使用の制限	適
	適応除外	適
	特定特殊自動車を業として使用する者が守るべき指針	適
騒音規制法	特定建設作業の事前届出	
	規制基準の遵守	
振動規制法	特定建設作業の事前届出	
	規制基準の遵守	
使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	自動車の所有者の責務	適
	使用済自動車の引渡義務	
	再資源化預託金等の預託義務	
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	事業者及び消費者の責務	適
	料金の請求	
使用済小型家電の再資源化等に関する法律(小型家電リサイクル法)	事業者の責務	適

当社関連の環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反は無く、関係機関等からの指摘も無く、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

9.代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

(全体の評価)

今年度11月より事務所電気を全部LEDに交換しました。

二酸化炭素の排出量削減になると思われます。使用量把握を継続して行います。

来年度は、コピー機も古いので環境に良いエコのコピー機の導入も考えています。

わずかではありますが、環境に良い設備も取り入れて、地球環境維持改善に努めます。

2011年からEA21運用してきました。来年度は5年目になります。

1年又1年、年を追うごとにEA21の気持ちの意識も変わってきたのではないのでしょうか。

「環境方針」を元に環境目標、計画、…文書1からはじまり記録8まで

来年度も続けます。社員全員一丸となり頑張ります。